

## 「すいか売り隊」による食育活動を支援しています

県央農林総合事務所 津幡農林事務所



小学生によるすいかの受粉作業



自分で受粉した果実の収穫

河北潟生産出荷組合すいか部会では、平成21年度から「河北潟すいか」の良き理解者とファンづくりを目的として、地元の小学生や消費者を対象とした食育活動を展開しています。

この活動は、すいか部会青年部7名で組織する「すいか売り隊」が自主的に行うもので、昨年度は、津幡町小学校4、5年生を対象に実施されました。授業では、すいか栽培や農業全般についての説明、すいかの試食を行い、小学生からは活発な質問に加え、「すいかは好きではなかったけど美味しかった。これからはもっと食べたい！」などのうれしい感想が寄せられました。

また、今年度は、活動内容をさらに発展させ、萩野台小学校5年生によるすいかづくり体験が行われました。体験では、小学生にすいかの雌花を受粉させ、自分が受粉させた果実に絵や名前のシールを貼るなど、楽しく学び、身近に感じられることに重点をおいた内容が好評で、メンバーは一層の手応えを感じていました。

当事務所では、「すいか売り隊」による活動の企画立案に対する助言や、食育活動に関心のある小学校に対する市町と連携した働きかけ、具体的な授業内容についてメンバー、先生との打ち合わせのほか、農家の努力を広く公表することで、より積極的な活動が展開されることを期待し、マスコミ、JA、周辺市町へ情報を提供する等の支援を行ってきました。

こうした食農教育や交流活動は、今後益々重要になると考えており、この活動を広げ、息の長い取組としてつづけていけるよう支援していきます。

お問い合わせ先：県央農林総合事務所 津幡農林事務所 (076-289-4158)